

の対象を子供たちにしようとする決意を固めた。

- ⑤ 「わたし」は、子供たちと時間を過ごすことで自らの子供時代を思い出したり、人生で残された時間について思いを馳せたりして、七夕家さん親子がつくっている世界を、触れることができないかけがえのないもののように感じた。

問9 本文の表現の特徴の説明として適当でないものを、次の①～④のうちから二つ選りなさい。解答番号は ②・ ③。

- ① 波線部aの「雨上がりの光る露のような言葉」は、「二人の娘」を連れてくるという七夕家さんの言葉を受けて、雨に洗われた庭先で美しい露をふと見つけたときのまじりなく、わくわくする「わたし」の期待の高まりを表した表現である。

- ② 波線部bの「宝物のような、子供たちの秘密」は、誰もが子供のころに心の中に持っていたはずの目の前の世界に対する好奇心や楽しみや愛着を、子供たち自身が無意識のうちにいつくしみながら育てていることを表した表現である。

- ③ 波線部cの「詩を書くという悪癖」は、七夕家さんに加えて、「わたし」自身もしている詩作について、あえて逆説的に表現することにより、本文中ではあまり表に出していない「わたし」の詩作に懸ける熱い思いを垣間見ることができる表現である。

- ④ 波線部dの「まるで人買いの女のように」は、七夕家さんの子供たちが放っている命の輝きにすっかり魅了されながら子供たちを見守っている「わたし」の様子を、商品の品定めをする「人買い」という表現でユーモラスに表している。

- ⑤ 波線部eの「昆虫が触角を触れ合わずように」は、本当は詩の合評会よりも子供たちと触れ合っていたら「わたし」と、詩は向いていないとはっきり引導を渡してほしい七夕家さんとの、うまくかみ合わない気持ちを表した表現である。

- ⑥ 波線部fの「この世に降んでいるしやばんだまのよう」は、七夕家さんと二人の娘に会った日のことをなつかしく思い出しながらも、独特の空気感を漂わせた出来事であり、遠く甘やかな記憶として眠れていることを印象的な表現で表している。

解答編

英語

I

解答

- 1-④ 2-① 3-② 4-③ 5-② 6-②
7-② 8-③ 9-④ 10-②

【解説】 1. her の後ろにあるので名詞が適切。kindness 「親切さ」

2. 文の後半が「映画の残りは明日見よう」という意味なので、それまでずっと見ていたことがわかる。be getting tired 「疲れてきた」

3. so は目的の意味を表す接続詞なので、文の後半は「猫が外に出ないように」という意味になる。前半は「ドアを閉めなさい」という命令文にするのが適切である。

4. what to do 「何をすべきか」とすれば、「携帯をなくしたときに」という後半と合致する。

5. have A + 過去分詞「A を～してもらう」とすれば、「仕事の面接の前に髪を切ってもらった」という文脈に合う。

6. even though 「～にもかかわらず」という接続詞を入れれば、「その夜は寒かったにもかかわらず、彼らは外で座っていることに決めた」という文意が成立する。

7. but 以下の文が過去形で then 「そのとき」とあることから、前半は現在形ではないことがわかる。過去完了進行形の②が適切。「公園に行こうとずっと思っていたが、そのとき雨が降り出した」

8. 付加疑問文を作る。もとの文を否定文にしたときに使われる助動詞を使うので、この場合は want が一般動詞の現在形であるため、don't を使うことになる。

9. be allowed to do 「～することを許される」という意味になるので、不定詞の選択肢を選ぶ。

10. just in case ～ 「～の場合に備えて」という慣用的な接続詞句。「道が混んでいる場合に備えて早く出なくてはいけない」という意味になる。

II 解答

11-① 12-② 13-② 14-③ 15-① 16-②
17-④ 18-④ 19-③ 20-②

解説 11. 多くの食料が余っている状態で、ケンが最後に「次は出席を事前に確認しよう」と言っているので、①「(実際に来た人数の) 2 倍の人数が来ると思っていた」という発言が合致する。

12. モナが初めに「その著者の他の作品も読んだ?」と聞いており、最後に「最初の小説がとても好き」と言っているので、おすすめの作品を聞いているのだと考えられる。

13. サイモンの発言に対し、エミリーが「それはひどい。いつ会えるのかメールで確認しなくてはいけないかもね」と答えているので、その教授はいつも不在であることが想定できる。

14. 「お金をためなくてはならない」と言っているので、③「今着ているコートは次のシーズンにも着用する予定である」とするのが自然である。

15. ボブの 4 つ目の発言 (Right now, I...) と 5 つ目の発言 (That would be...) から、キャシーは仕事の面接に来ていて、彼女を今後どのようにシフトに入れるかの話をしているとわかる。

16. キャシーの 3 つ目の発言 (I started off...) の後半に、「もっと働く時間を増やしたい」とあるので、現在の仕事では十分でないことがわかる。

17. ボブの 4 つ目の発言 (Right now, I...) に「現在はシフトの空きが少ししかないので、現在の仕事も続けたらいい」とあるので、両方のレストランで働くことを提案しているとわかる。

18. 会話全体が、タイラーの質問に対してフェントン教授が答えているという形になっており、タイラーの発言を追うと、何かの問題の解決を求めていることがわかる。

19. フェントン教授の最初の発言 (Yes, but just...) で、たくさんの人が来る予定で、数分しか時間がないと言っているので急いでいることがわかる。

20. フェントン教授の最後の発言 (Just in case, ...) に「他の人が同じ研究をもう始めてしまっていないか確認した方がよい」と書かれているので、まずそのことを確認するため他の生徒に連絡を取ると考えられる。

III 解答

21-③ 22-② 23-③ 24-④ 25-②

解説 《高齢者と IT 活用》

21. 第 3 段第 2・3 文 (More elderly people... of elderly people.) に「老人の多くは老人ホームよりも家にいたいので、健康維持のための技術が役に立つ」と書かれているので、③に一致する。

22. ②「老人が他の人と交流を持つことができる」は、第 5 段第 3 文 (By learning with...) 以降の内容に合致する。

23. 第 5 段第 1 文 (Social media does, ...) に、老人がフィッシング詐欺に遭いやすいことが書かれているので③に合致する。

24. 第 5 段第 2・3 文 (To combat this, ... comfortable asking questions.) で述べられている「基礎 IT 講座で他の高齢者と一緒に学ぶこと」を示しているもので、④が正解である。

25. 第 4 段第 3 文 (There is a...) から、グラフ C が④タブレットであることがわかる。また、③は同段最終文 (The use of...) にタブレットに似た使用率だと書かれているので、このグラフの選択肢にはない。①のヘルスケアに関するアプリも、どの程度使用されているかは本文に言及がないので、消去法で②が残る。

IV 解答

26-③ 27-③ 28-② 29-① 30-①

解説 《環境保護法の考察》

26. 従来の環境の法律に変わって、新しい「自然の権利」という概念が登場していることについての様々な考察が書かれている文章である。

27. ③「それらは生態系の所有者に焦点を当てている」は、第 2 段最終文 (Those who support...) に一致する。従来の環境に関する法律ではできなかったことを、新しい「自然の権利」という概念を入れた法律では可能にしていると書かれている。

28. ②「コミュニティが自然資源を必要としているということを説明するため」は、第 4 段第 3～5 文 (For example, cities... of local citizens?) に水が必要だからといって湖から取水することはどうだろうかという問題提起が書かれていることに合致する。

29. 第 5 段の最後の 2 文 (While this may ... by the court.) に、この法律はより明確に定義される必要があり、それまで認めてこられなかったような判例が減るかもしれないと述べているので、①「環境を改善するいくつかの方法の一つである」に合致する。

30. 環境に人間と同じように権利を与えるべきだという新しい考え方の是非について書かれた文章であるので①「環境に法の権利を与えること」が最も適切である。

V 解答 31-⑦ 32-⑥ 33-③ 34-④ 35-② 36-⑥
37-① 38-⑤ 39-① 40-⑥

解説 並べ換えた文は以下の通り。

31・32. (What) should be done about people who are always (late?) be done は受動態で「される」という意味。who は関係代名詞で先行詞は people。

33・34. There is nothing better than being outside on a (beautiful day.) 直訳は「晴れた日に外にいることよりもよいことはない」という意味である。

35・36. To get there on time you should take an earlier (train.) 主語は you であり、「そこに時間通りに着くために」という目的の意味を表す不定詞が文頭に來ている。

37・38. Somebody told me that Kelly was coming home (today.) come home の進行形で be coming home となっているが、これは近接未来の意味である。

39・40. (Nobody) knows why the window was left open all (night.) why 以下は間接疑問文なので、SV の語順になる。leave A + 形容詞「A を～の状態にしたままにしておく」

数学

I 解答 <小問 9 問>

① 5 ② 2 ③ 2 ④ 2 ⑤ 1 ⑥ 3 ⑦ -③ ⑧ ⑨ ⑩ 135 ⑪ ⑫ 54
⑬ ⑭ 17 ⑮ 7 ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ 10200 ㉑ ㉒ ㉓ 30

II 解答 <2 次関数>

㉔ ㉕ -2 ㉖ 2 ㉗ 3 ㉘ ㉙ -2 ㉚ - ㉛ 1 ㉜ -③ ㉝ 3 ㉞ -①

III 解答 <図形と計量>

㉟ 1 ㊱ 4 ㊲ ㊳ 21 ㊴ ㊵ 15 ㊶ 4 ㊷ ㊸ 21 ㊹ ㊺ 21 ㊻ 2 ㊼ 3
㊽ ㊾ 32 ㊿ 7 ㋀ ㋁ 64 ㋂ ㋃ 34

IV 解答 <確 率>

㋄ 1 ㋅ ㋆ 36 ㋇ 5 ㋈ 9 ㋉ ㋊ 37 ㋋ ㋌ ㋍ 216 ㋎ ㋏ 23 ㋐ ㋑ ㋒ 108